

2015年度定期総会 第35回研究大会 プログラム

開催期日・会場 2015年5月30日(土)：仙台市民会館

2015年5月31日(日)：仙台大学

	午 前	昼休み	午 後
29日 (金)			18:00~20:00 ■2014年度第6回理事会 〔会場:仙台市民会館第六会室〕
30日 (土)	9:30 受付開始 〔会場:仙台市民会館〕 10:30~12:00 定期総会 〔会場:仙台市民会館 大ホール〕	12:00~13:00 ◆打ち合わせ 特別講演・シンポジウム 関係者 ■2015年度 第1回編集委員会 ◆分科会関係者打ち合わせ (任意)	13:00~16:45 研究大会 I:特別講演 II:シンポジウム 〔会場:仙台市民会館 大ホール〕 17:30~19:30 情報交換会 〔会場:アークホテル仙台 青葉通り〕
31日 (日)	9:00 受付開始 〔会場:仙台大学〕 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">分 科 会</div> 10:00~12:30【午前の部】 会場:仙台大学 第1分科会 B101 第2分科会 B103 第3分科会 B102 第4分科会 B104 第5分科会 B201 第6分科会 B300	12:30~13:30 ■2015年度第1回理事会 ■2015年度第1回 教員免許事務検討委員会 ■2015年度第1回学校インター ンシップ等検討委員会 ■2015年度第1回 教員養成制度検討委員会 ◆分科会関係者打ち合わせ (任意)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">分 科 会</div> 13:30~16:00【午後の部】 会場:仙台大学 第7分科会 B101 第8分科会 B103 第9分科会 B102 第10分科会 B104 第11分科会 B203 第12分科会 B300

全国私立大学教職課程研究連絡協議会

会場案内

◆5月30日(土) 第1日 定期総会・特別講演・シンポジウム

・第1日 会場

仙台市民会館 〒980-0823 仙台市青葉区桜ヶ岡公園 4-1

アクセスマップは、14 ページをご覧ください。

* 第1日目は開催校の「仙台大学」ではございません。お間違えないよう、ご注意願います。

情報交換会 アークホテル仙台青葉通り

◆5月31日(日) 第2日 分科会

・第2日 会場

仙台大学 〒989-1693 宮城県柴田郡柴田町船岡南二丁目2番18号

TEL : 0224-55-1121(代表)

仙台大学は仙台市内にはありません。仙台駅から東北本線福島方面約30分乗車、船岡

駅下車徒歩10分です。アクセスマップは、15 ページをご覧ください。

行き	仙台駅発	船岡駅着
	7 : 4 5	8 : 1 6 福島行
	8 : 2 3	8 : 5 3 白石行
	8 : 5 3	9 : 2 4 福島行
	9 : 0 0	9 : 3 2 白石行
	9 : 4 1	1 0 : 1 2 白石行

帰り

船岡駅発仙台方向行

1 5 : 2 3、5 5、1 6 : 1 2、3 5、5 4、1 7 : 2 1

参加申込要領

1. 定期総会への出欠…同封「はがき」のご投函

- (1) 同封の「はがき」に定期総会の出欠をご記入のうえ **5月15日(金)まで**にご投函ください。
※お手数ですが 52円切手を貼付願います。
(宛先…仙台大学教職支援課第35回大会準備委員会)
- (2) 議決権行使者氏名…定期総会にご出席される方のご氏名(複数出席される場合は代表者名)をご記入ください。

2. 委任状

定期総会ご欠席の会員大学は、同封の「はがき」の委任状部分に必要な事項をご記入いただき、**5月15日(金)まで**にご投函ください。
※定期総会成立のために委任状も必要となりますので、定期総会にご欠席の会員大学は、委任状(1大学1通)をご提出いただきますようご協力をお願いいたします。
※委任状の中の「代表者氏名」は学長名ではなく、全私教協からの書類の受領、全私教協へ書類等を提出される代表者名で結構です。

3. 分科会／情報交換会の参加申込方法

全私教協のWEBサイト (<http://www.zenshikyoku.jp>) トップページの「全私教協 2015年度定期総会・第35回研究大会お申し込み・ご案内はこちら」の「全国私立大学教職課程研究連絡協議会 2015年度定期総会・第35回研究大会プログラム」の「お申し込みフォーム」から、各事項をご記入の上送信していただきます。**5月15日(金)まで**にお申し込みください。(期限厳守)

- (1) 配付資料は事前申込者数で準備しますので、期限内にお申しいただけますようご協力をお願いします。
- (2) 第6分科会及び第12分科会(教員免許事務検討委員会による企画運営)に参加される方は、資料を事前にインターネットの全私教協WEBサイトに掲載しますので、各自、印刷して持参してください。会場での資料配付はありません。

4. 参加費

- (1) 研究大会…1名 3,000円 情報交換会…1名 6,000円
- (2) 参加申込を確認後、1週間以内にメールで参加費の振込方法をご案内します。
※参加申込をされてから1週間以内に参加費振込方法のご案内のメールが届かない場合は、下記までお問い合わせください。

仙台大学 教職支援課

電話 0224-55-1307 (9:00-16:00)

- (3) 振込手数料のご負担をお願いいたします。
- (4) ご入金後の返金は理由の如何を問わずいたしません。

5. 定期総会出欠（委任状）「はがき」投函期限 及び 分科会・情報交換会参加 申込期限

2015年5月15日（金）

【事務局からお願い】

近年、申込期限後に多数の参加申込があり、大会校の準備に過大なご負担をおかけしています。
参加申込みの期限厳守に重ねて皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

6. お問い合わせ先

○分科会、情報交換会への参加申込、参加費振込に関するお問い合わせ先

仙台大学・・・〒989-1693 宮城県柴田郡柴田町船岡南二丁目2番18号

電話：0224-55-1307 FAX：0224-55-1154

○定期総会出欠・委任状の記載等に関するお問い合わせ先

全国私立大学教職課程研究連絡協議会事務局（2014・2015年度担当）

東京薬科大学生命科学部内 電話 & FAX：042-676-5634

E-mail：zenshi@toyaku.ac.jp

〒468-8502 八王子市堀之内1432-1

（電話は研究室直通です。電子メールのご利用にご協力ください。）

両日の昼食について

第1日、第2日とも、お弁当をご利用ください。

※HPから申し込みが可能です。事前に予約をお願いします。

大学周辺はコンビニなどが少なく利用はできません。

■各分科会当日の会場

■各分科会打ち合わせ（任意）の会場

■2015年度第1回専門委員会会場・第1回理事会

受付にてご案内致します。

第1日 2015年5月30日(土)

受付開始 9:30

2015年度 定期総会

10:30 ~ 12:00

会場：仙台市民会館大ホール

《 次 第 》

1. 開会のことば
2. 会長挨拶
3. 会場校代表挨拶
4. 議長団選出
5. 議 事
 - (1) 2014年度活動報告
会務報告
各地区協議会活動報告
各専門委員会活動報告
 - (2) 2014年度決算報告
 - (3) 会計監査報告
 - (4) 2015年度活動方針(案)
 - (5) 2015年度予算(案)
 - (6) 2015年度「教職課程運営に関する研究交流集会」及び
2016年度定期総会・第36回研究大会 会場大学 報告・紹介
 - (7) その他
6. 新加入大学の紹介
7. 2015年度：教職課程運営に関する研究交流集会 会場大学 代表挨拶
8. 2016年度定期総会・第36回研究大会 会場大学 代表挨拶
9. 閉会のことば

昼 休 み 12:00 ~ 13:00

第1日 2015年5月30日(土)

第 3 5 回 研 究 大 会

13:00 ~ 16:45

会場：仙台市民会館大ホール

メインテーマ：これからの魅力ある教職課程をどう創るか

I : 特別講演：教員養成改革の見通し

講師 遠藤 利明氏 (衆議院議員)

II : シンポジウム：これからの魅力ある教職課程をどう創るか

—小中一貫・インターンシップ・地域連携を前に—

報告1：教育行政の立場から・・・茂里 毅氏 (文部科学省初等中等教育局教職員課長)

報告2：(折衝中)

報告3：インターンシップ研究の立場から・・・原 清治氏 (佛教大学教育学部長)

報告4：全学的な教員養成センターの立場から・・・
森山 賢一氏 (玉川大学教師教育リサーチセンター長)

司会 滝沢 和彦氏 (大正大学人間学部教授)
(もう1名・・・折衝中)

教員養成の今後が問われる時である。学校制度の大きな改革となる小中一貫教育は、来年度からの制度化が予定されている。これに伴う教員免許制度の改正も行われることから、教職課程の在り方が正面から問われることとなる。このようなときに特別講演「教員養成改革の見通し」とシンポジウム「これからの魅力ある教職課程をどう創るか」とによって、私立大学教職課程の基盤を確かなものとし、今後の教員養成に取り組んでいきたいと考える。なお、本年度は、大会メインテーマとシンポジウムのテーマを同じものとし、シンポジウムと分科会との議論の一貫を企図した。今後に向けた実りある研究大会となることを期待したい。

第1日 2015年5月30日(土)

情 報 交 換 会

時 間: 17:30 ~ 19:30

会 場: アークホテル仙台青葉通り(仙台市民会館から徒歩7分程度)

第 2 日

2015年5月31日(日)

■受付開始…9:00

◆受付場所…仙台大学

※各分科会会場は、当日受付にて教室変更等がないか念のためご確認ください。

◆午前の部 10:00 ~ 12:30

◆午後の部 13:30 ~ 16:00

第1分科会

〔企画：北海道地区協議会〕

障害を抱える学生と教職教育
— 発達障害のある学生の可能性と課題 —

○趣旨： 来年4月1日に、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)が施行され、民間事業者にあたる私立大学にも、障害を理由とした不当な差別的取扱の禁止等の合理的配慮の提供が努力義務とされる。教職課程においても、その提供に取り組むことになるが、合理的配慮の提供に関する努力義務とは何を意味するのか、実際に配慮する際にどのような課題が存在するのかなど、解決すべき問題があるものと思われる。

そこで、本年度は障害者差別解消法における合理的配慮の努力義務の意味を理解した上で、教職への可能性を見据えつつ、発達障害のある学生への支援のあり方、その課題について考えることとする。発表では、教育実習に焦点をあて、大学における実習に至るまでと実習校における指導について、担当した教員の経験から報告をして頂き、議論を深めていきたい。

○司会者：塩見 啓一(札幌学院大学) / 西村 貴之(北翔大学)

○記録者：白石 淳(北海道医療大学)

○発表者：①障害(がい)のある学生に対する私立大学の努力義務とは何か？

— 教職課程を履修する学生の場合 — …… 田実 潔(北星学園大学)

②発達障害や精神的な困難を抱える学生が教育実習に取り組む際の課題と支援
…………… 二通 諭(札幌学院大学)

③発達障害や精神的な困難を抱える教育実習生への指導と課題
…… 長沢 修司(北海道札幌養護学校共栄分校)

第2分科会

〔企画：阪神地区協議会〕

教師教育実践交流Ⅷ
— 「教職実践演習」の実践例について —

○趣旨： 阪神地区協議会では、2009年度より毎年「教職課程に関するアンケート」を実施しているが、2014年度は、「教職実践演習」について尋ねた。「教職実践演習」は短期大学では2011年度から、大学では2013年度から実施されている。今後「学びの軌跡の集大成」として位置づけられる「教職実践演習」が私立大学の教員養成に意義あるものとなることが求められるであろう。当分科会では、アンケート調査の結果分析を報告するとともに、阪神地区の大学の「教職実践演習」の実践例を紹介し、具体的な課題を共有したい。最終的に大学の教職課程において教員として求められる資質能力とは何かについて議論を深めることが、私立大学における教員養成の一層の充実化につながるならば幸いである。

○司会者：田中保和(近畿大学) / 船所武志(四天王寺大学)

○記録者：西口利文(大阪産業大学)

○発表者：①阪神教協アンケート調査の結果分析 …… 八木成和(四天王寺大学)

②実践事例報告1 : …… 富岡 勝(近畿大学)

③実践事例報告2 : …… 吉田佐治子(摂南大学)

第3分科会

〔企画：中国・四国地区協議会〕

小中一貫教育に対応した教員養成の課題と展望

○趣旨： 小1プロブレム，中1ギャップ等の現状を受けて，子どもの発達，能力に応じた効果的な教育を行う方策の一つとして小中一貫教育に関する検討が行われてきた。そして，中央教育審議会は，昨年12月に小中一貫教育の制度化と推進方策等についての答申を出している。一方で，小中一貫教育制度の施行に先駆けて多様な試みが全国で実施されている現状がある。このような状況の中，9年間の課程を見通し柔軟な対応により効果的な教育を実施できる教員の養成が重要となる。そこで，本分科会では，小中一貫教育制度に対応できる教員養成課程の質の保証さらに充実にむけて，制度改革と小・中・高等学校を併設する私立小学校の実状の二つの角度から，小中一貫教育の導入に対応できる教員養成について議論を深めたい。

○司会者：石橋孝明（徳山大学）／中村喜久江（福山平成大学）

○記録者：中村雅子（福山平成大学）

○発表者：①教員免許制度改革の視点から（仮題）…高岡信也（独立行政法人教員研修センター）
②私立小学校の取組から（仮題）……青木一義（ぎんがの郷小学校）

第4分科会

〔企画：九州地区協議会〕

養成校の教育実習指導と実習校における学びを繋ぐ

○趣旨： 教育実習の主たる意義は、(1)養成校における教育研究を深めること、(2)教育実践力の基礎を身につけること、(3)子どもや教師の姿を通して改めて人間としての自己形成を省察、展望すること、であろう。しかし、「教育研究」、「教育的実践力」、「人間としての自己形成」の具体的中身は、各養成校の養成したい教師像や教育実習に期待する教育効果等によって異なる場合も多い。いっぽう、教育実習受け入れ校では各学校の教育研究及び実践の指針に基づいて教育活動が展開され、実習指導はそこで行われる。教育実習の充実にとっては両者の意思（思想）の明示と相互理解が重要であろう。本分科会は三つの発表で構成されるが、下記の①と②の発表は、養成校の事前指導の試みと各養成校の実習日誌の内容分析であり、それらに表現される養成校の“意思”をテーマとしている。③の発表は実習校の“意思”の明示である。三つの発表を踏まえて、両者の相互理解や教育実習の改善・充実に向けた議論が展開されることを期待する。

○司会者：山岸 治男（日本文理大学）／椎葉 富美（長崎純心大学）

○記録者：桃原 亮昌（沖縄女子短期大学）

○発表者：①教育実習特別事前指導の取組について……佐喜本 愛・松原 岳行（九州産業大学）
②養成校の実習日誌分析……櫻田 裕美子（宮崎産業経営大学）
③実習校における実習生の学び……久保 ひろみ（苅田町教育委員会教育総務課）

第5分科会

〔企画：学校インターンシップ等検討委員会〕

学校インターンシップは学生のどのような力を育てているのか —現場体験活動と教員採用の関係を中心に—

○趣旨： 本委員会では、学校インターンシップなど現場体験活動の実態を把握するため 2005 年と 2011 年に全国的なアンケート調査を実施した。学校現場の受け入れ態勢など課題はあるものの、各地区の実態に応じた取組が定着しつつあるといえる。研究の次の段階として、学校インターンシップなどの体験活動が学生個人の教員採用の結果を中心に教科指導・生徒指導力の向上につながるかどうか、その効果の実証的な検証が求められる。そこで 2014 年度に新たなアンケート調査を行い、北海道から九州まで 27 の全私教協加盟校の協力を得て 2500 以上のサンプルを回収することができた。本分科会ではその分析結果から全国的な傾向と各地区の特徴を報告する。会場との質疑応答を交え、広範な議論を展開したい。

○司会者：原 清治（佛教大学）

○記録者：櫻田 裕美子（宮崎産業経営大学）

○発表者：①全国調査の概要と全国的な傾向……原 清治（佛教大学）、
②学校インターンシップの地区ごとの特徴……北海道…武川 一彦（札幌大学）、東北…佐藤 手織（八戸工業大学）、関東…滝沢 和彦（大正大学）、東海・北陸…加島大輔（愛知大学）、京都…森田 真樹（立命館大学）、阪神…富江 英俊（関西学院大学）、中・四国…三橋 謙一郎（徳島文理大学）、九州…松原 岳行（九州産業大学）

第6分科会

〔企画：教員免許事務検討委員会〕

課程認定申請について —教員免許事務に関するアンケート集計結果をもとに—

○趣 旨： 課程認定申請書類の提出期日が年々大幅に前倒しとなり、平成 27 年度申請は 5 月末、平成 28 年度申請は 3 月末と同一年度に二回の受付となっている。平成 28 年度の申請大学にあっては、3 月にすでに提出を終えている状況かと思われる。申請書提出後の補正指示や来年度の申請にむけた「教員免許事務に関するアンケート」の集計結果や、昨年度の実地視察大学から報告をいただき、主な指摘事項や特記事項等を取り上げる予定である。そこから見えてくる課程認定申請上の諸問題の考察をはじめ、変更届の変更点や情報の公表についても情報共有を試みたい。今後申請を予定している大学だけでなく、広く教職課程を有する加盟大学にとって有益な内容としたい。昨年度の分科会同様、文部科学省教職員課免許係の担当事務官をゲストにお招きし、委員・報告者・参加者・文部科学省担当事務官による意見交換を行う予定である。

○司会者：柳澤 良彰（宮城学院女子大学）

○記録者：内藤 裕子（大阪学院大学）

○発表者：①課程認定申請上の諸課題について（アンケート結果に関する文科省との対談を含む）
…… 美納 清美（国士舘大学）

②実地視察大学からの事例報告 ～第一報から指摘対応まで～

…… 城戸 直也（追手門学院大学）

第7分科会

〔企画：京都地区協議会〕

教職課程と小学校・中学校との連携

○趣旨： 近年、教育実習は学生にとってハードルが高くなってきているのではないかと、それを補完するプログラムが教職課程の中に必要になってきているのではないかと。

教育実習は教職の中でも中心的な「授業」をいきなり持たされる。しかし、医者や薬剤師、弁護士など専門性の高い世界の実習内容は、いずれも当該職種の周辺的な仕事である。近年注目されている学習論に「正統的周辺参加論」というのがあるが、教育実習はいわば「中心参加論」なのである。とすれば、教育現場が即戦力を求める時代では、教育実習の手前で教師の仕事の周辺から入り実習に至る何らかのステップが用意されなければならないと言える。それが学校ボランティアなど教育現場との様々な連携の試みだと言えよう。

分科会では、教育現場との連携のあり方を、様々な実践例・具体例を通して、その意義や課題について議論を深めたい。

○司会者：吉村俊昭（成安造形大学）

○記録者：鷺阪宗寛（花園大学）

○発表者：①公立小学校の英語/外国語活動と大学演習科目「英語教材作成」との連携協力スクール
インターンシップ—大学は学びの場だけでは物足りない—

……………橘堂弘文（京都ノートルダム女子大学）

山本吉彦（大阪教育大学附属平野小学校）

②教職課程の授業における小中高校との多様な連携 ……………中 善則（花園大学）

第8分科会

〔企画：東北地区協議会〕

教職課程を履修する学生の資質向上を目指して —東北地区教職課程研究連絡協議会の教育実習に係る調査等を踏まえて—

○趣旨： 急速な社会や意識の変化は、わが国の教育にもさまざまな課題をもたらしてきており、これからの教育を担う人材に対しても、これまで以上の資質や能力が求められている。このような中、教職を目指す学生の資質向上は喫緊の課題である。

分科会では、東北地区の加盟校に対して実施した「教育実習に係る諸問題」の調査結果を基にした研究協議の成果や課題並びに、教育現場での経験を増やし、教員を目指す学生の資質向上のために各大学が取り組んできた事例の紹介、検討を行うことを通して、教職を目指す学生の資質向上策についての協議を深めていきたい。

○司会者：菅並 茂樹（東北生活文化大学）

○記録者：似内 寛（東北福祉大学）／高橋 美砂（東北福祉大学）

○発表者：①教職を目指す学生の資質向上を目指して……………白井 秀明・石原 直（東北福祉大学）

第9分科会

〔企画：関東地区協議会〕

教員採用試験における適性検査問題 —都道府県・政令指定都市教育委員会への実態調査から—

- 趣旨： これまで、教員採用試験における適性検査の実態——実施の有無、実施形態、使用されている検査の種類及び内容、検査結果の活用の仕方など——は明らかにされてこなかった。また、大学の教職課程でも、筆記や面接試験対策に取り組むことはあっても、適性検査にまで関心を払うことはあまりなかった。
- 関東地区協議会では、2010年度から適性検査問題の調査研究を進め、2012～2014年度の3年間、継続的に全国67の都道府県・政令指定都市教育委員会を対象とした「適性検査に関するアンケート調査」を実施し、3冊の報告書にまとめた。この間、適性検査を受けた受験者への質問紙調査（2013）、教員採用試験における適性検査の位置づけ及び採用後の勤務状況との関係性についての補充調査（2014）も実施した。
- 分科会では調査結果の概要を報告し、適性検査問題の実態を明らかにするとともに、調査から見えてきた課題について参加者とともに検討したい。

- 司会者：内海崎 貴子（川村学園女子大学）／戸塚 唯氏（千葉科学大学）
- 記録者：蔵原 三雪（横浜創英大学）
- 発表者：①教員採用試験における適性検査への調査と課題……………岡明 秀忠（明治学院大学）
②教員採用試験における適性検査の実施状況……………改田 明子（二松学舎大学）
③「MMPI」と望まれる教師像……………荒尾 貞一（北里大学）

第10分科会

〔企画：東海・北陸地区協議会〕

教員養成系学部学科における教員養成と課題 —幼稚園・小学校教諭と複数学校種免許状の取得と養成—

- 趣旨： 私立大学においては短期大学のみならず、四年制大学でも幼稚園教諭・保育士の養成を行うことは特別なことではなくなった。また、平成18年7月の教員養成部会「今後の教員養成免許制度の在り方について（答申）」以降、小学校教諭養成課程、すなわち教員養成系の学部学科を置く私立大学が急増してきた。また、中央教育審議会における小中一貫教育と小中学校教諭免許併有が大きな関心事項となっているが、この問題については私立大学ではそれ以前から、様々な工夫や努力がなされてきた。この動向についても、東海・北陸地区も例外ではなく、特に愛知県はこうした教員養成系・保育系の学部学科を持つ大学は多く、様々な特色ある実践がなされてきている。勿論、成功例ばかりではなく、それぞれに様々な課題を抱えている。こうした大学教育における実践と課題を検討する。

- 司会者：宮川充司（椋山女学園大学）／長谷川元洋（金城学院大学）
- 記録者：坂本徳弥（椋山女学園大学）
- 発表者：①金城学院大学人間科学部の改革と課題……………南 曜子・小島 省（金城学院大学）
②中部大学現代教育学部の実践と課題……………三島浩路（中部大学）
③椋山女学園大学教育学部の実践と課題……………宮川充司（椋山女学園大学）

第11分科会

〔企画：教員養成制度検討委員会〕

教職課程の改革課題 —多様なテーマのなかでどう考えるか—

○趣旨：教員養成の今後が問われる時である。学校制度の大きな改革となる小中一貫教育は、2016年度から制度化される。これに伴う教員免許制度の改正も行われることから、教職課程の在り方が正面から問われることとなる。このような時に、特別講演「教員養成改革の見通し」とシンポジウム「これからの魅力ある教職課程をどう創るか」と連動した分科会を企画した。より一層特別講演、シンポジウムを掘り下げ、私立大学教職課程の基盤を確かなものとし、今後の教員養成に取り組んで行く具体的な目標を明らかにしたい。

○司会者：荻原 克男（北海学園大学）、田中 泉（広島経済大学）

○記録者：平山 静男（九州女子大学）

○発表者：①現在の課題・改革課題への加盟校の意識 …………… 藤本 敦夫（大阪音楽大学）
②教員養成政策と教職課程運営の課題 …………… 田子 健（東京薬科大学）
③今後の課題—教職課程での教育を振り返って……………町田 健一（北陸学院大学）

第12分科会

〔企画：教員免許事務検討委員会〕

教職課程業務の引き継ぎ —困難さの共有と具体的方策の検討—

○趣 旨： 教職課程業務を担当するにあたっては、教育職員免許法をはじめとする法令や教職課程認定基準への理解、学生を支援し指導する能力等多様な知識技能が要求される。このことから、教職課程業務は複雑であると捉えられていると同時に、各大学において特定の個人に業務そのものが依存する傾向にある。しかし、大学の事務職員には異動がつきものであるために、特定の個人に業務を依存しない引き継ぎが重要な課題となる。

以上の背景を踏まえ、本分科会では大学において教職課程を担当する事務職員を対象として、複雑な教職課程業務の引き継ぎの困難さを共有し、かつ具体的方策について検討する。また、グループワークを取り入れることによって、会員校の担当者同士のネットワーク作りに貢献する。

○司会者：松山 隆志（九州女子大学）

○記録者：齊藤 孝（福山平成大学）

○発表者：①教職課程業務を引き継いだ際の戸惑いについて …………… 松宮 慎治（神戸学院大学）
②教職課程業務を引き継ぐ際の注意点と取組み事例について …………… 石倉 英夫（花園大学）

仙台市民会館までの交通案内

■ 地下鉄	勾当台公園駅下車「公園2」出口から、徒歩約10分
■ バス	仙台市営バス「定禅寺通経由 交通局・大学病院」行き 「仙台市民会館前」下車（JR仙台駅前 29番乗り場より、約15分） ※バス停は仙台市民会館の目の前にあります
■ タクシー	JR仙台駅より 約10分
■ 高速道路	東北自動車道「仙台宮城IC」より 約10分
■ 駐車場	仙台市民会館有料駐車場 35台 8:30~22:00 30分100円
※ 会館には駐輪場がありませんので自転車・バイクでの来館はご遠慮ください。	

仙台市民会館 周辺地図



東北共立・陽光ビル企業体は、『賑わいのあるまちのステージ』をテーマにより多くの方にご来館頂けるよう指定管理者として、努めてまいります。

仙台市民会館

〒980-0823 宮城県仙台市青葉区桜ヶ岡公園 4-1
TEL: 022-262-4721 FAX: 022-215-3950
E-mail: sendai-shimin@tohoku-kyoritz.co.jp

仙 台 大 学



仙台大学キャンパスデータ

所在地 〒 989-1693 宮城県柴田郡柴田町船岡南二丁目2番18号

連絡先 TEL:0224-55-1121(代表) URL <http://www.sendaidaigaku.jp>

アクセス

■仙台方面からご利用の場合

- ・仙台駅からJR東北本線上り線(大河原・白石・福島行きなど)に乗車、船岡駅下車徒歩10分(仙台駅～船岡駅 31分)
- ・仙台空港駅から仙台空港アクセス鉄道で名取駅まで(約10分)、名取駅からJR東北本線上り線(大河原・白石・福島駅行きなど)に乗車(約18分)、船岡駅下車徒歩10分

■東北新幹線白石蔵王駅方面からご利用の場合

- ・東北新幹線白石蔵王駅からJR東北本線白石駅まで(徒歩20分・タクシー5分)、白石駅からJR東北本線下り線(仙台・利府・松島行きなど)に乗車(約16分)、船岡駅下車徒歩10分

ご注意 「仙台大学」の名称から、JR仙台駅よりタクシーを利用される方がおられますが、本キャンパスは、JR仙台駅より南方約30km、在来線で所要時間約30分の地点にありますので、新幹線等で仙台駅からお越しの際は、仙台駅にて乗り換え、在来線で船岡駅までおいでください。

<http://www.sendaidaigaku.jp/about/access.html>